



## 共育における「4つのF」

NPO法人マネジメント共育ネットワーク（MCN）の“4つのF”（Flat, Forward, Fun, Fusion）は、NPO組織内のみならず、私たちがお客さまのイノベーションの触媒となる上での行動指針である。

これは、下記のように、集団が「知識」や「知恵」を生み出す必要条件でもある。

その第一は“Flat”、組織や集団に「上下関係を作らないこと」である。

一般的に我々は、自分より上位の人間に対し、面と向かって自由な発言をしない。また、上意に反論したり、自発的に異論を唱えることも同様である。

従って、集団内に情報を自由に流通させ、そのぶつかり合いから「知」の生産を促進するための最初の一步は、その中に上下関係を発生させないことである。

次に、必要なのは“Forward”、「前向きの議論をすること」である。

例えば、ミスやトラブルの解決のためであるにせよ、その原因を追究し、真因に対して対策をとるのは、当面の問題解決に止まらず、あくまでも再発防止を目的としなければならない。また、他の集団の事象を取り上げる場合は、それを自分の所属する集団の問題に置き換え、その未然防止という観点から議論することが重要である。

第三の“Fun”は、その延長線上にある。

上記の例でいえば、ミスやトラブルの当事者は、追及や叱責を恐れ、情報や事実の開示を躊躇しがちである。そのとき、問題解決の議論の目的が、当面の処理より、再発防止という集団の大義に立てば、積極的に協力することが必然となる。まして、未然防止という議論となれば、「楽しく議論できること」は必定といえる。

最後の“Fusion”は、上記をさらに進化させる条件といえる。

人の集合である組織や集団は、とかく似通った人間や同世代の塊となりやすいが、簡素な目的を達成するためなら、それでも十分な場合が多い。しかし現代のような充足された時代に必要とされる「知」を生み出すには、「多様な人間が融合すること」が必須となる。多様な人間が多様な情報を交差させ、その接点から有意義な「知識」や「知恵」を生むことの重要性は、ことさら強調する必要もないといえる。

以上述べてきた“4つのF”は、内外を問わないMCNの行動指針であるが、それは取りも直さず、第3次産業革命に生き残るために、あらゆる組織に必要な条件でもある。

MCNは“4つのF”を体現し、その普及によるお客さまのイノベーションの活発化をつうじて、現代日本社会の停滞打破の一助になりたいと考える。

以上